

2025 笑顔でいこう



府中市議会議員

真田 さなだ
みつお

石破首相官邸へ

5/7-8



第103代 石破首相に府中市の財政状況や公立病院の状況などについて直接お伝えしてまいりました。石破首相との面談は今回で3回目です。首相就任後としては、初の意見交換となりました。

厳重なセキュリティの中、地方のリアルな声を短い時間ではありますがしっかりと届けましたことをご報告させていただきます。

文部科学省へ

GIGA スクール 生成 AI 時代の学習指導要領を考える



府中市で教育長を務めた荻野さんが今や全国の教育現場でご活躍されています。府中市の教育は本当に魅力的ですが、その価値をもっと市民に届ける工夫も必要ではないかとご提案いただきました。

5/15には兵庫県川西市から「小中一貫教育について」行政視察に来られるなど、府中市は教育においてICT技術

活用を積極的に進めており、特にGIGAスクール構想の取り組みが早くから進められ、プログラミング教育やドローンを使った教育最先端の教育技術も導入されています。

「こどもを大切にするまち」として、更に進化発展をしなければならぬと強く感じました。

エフエムふくやまに出演



【Go!Go!Bびんご〜】

今回で3回目の出演となりました。短い時間ではありましたが、「今の府中市の推し」「今の府中市の課題と対策」についてお話しさせていただきました。財政問題、少子高齢化、空き家問題など山ほどありますが、まずは笑顔で町を明るくしていきましょう！

プロフィール

1963 年 1 月生まれ
府中市出口町出身
趣味：読書・ギター 特技：神主
広谷小学校・第二中学校卒業
戸手商業高等学校 卒業
府中天満屋内でお好み焼き「ゲーニーズ」を起業
真田光夫保険事務所 所長



経歴

NPO 法人 いこる de BINGO 理事(継続中)
小野神社 総代(継続中)
一般社団法人備後府中サッカー協会 専務理事
県連商工会議所青年部 副会長
府中商工会議所青年部 会長
府中市消防団

2022 年 4 月 府中市議会議員 初当選

○厚生常任委員会 副委員長
○広報広聴特別委員会
○創生会 ○議会運営委員会



応援団募集！

真田みつお応援団として、看板を設置して下さる方を募集しています。

真田
みつお

後援会連絡所



真田みつお後援会事務所

〒726-0003 府中市元町 444-19

TEL/FAX 0847-44-6096

<https://www.sanadamitsuo.com/>

E-mail: magokoro@pear.ccjnet.ne.jp

アンケート

【外国人住民に関する

府中市の現状と取組みについて伺う】

平成4年には123人(人口の0.3%)でしたが、年々増加を続け、令和6年2月時点で735人となり、人口の約2%を占めています。

(現在22か国からの外国人住民が暮らしている。)市としては、外国人住民の受け入れ態勢について模索中であり、地域団体「たちまち府中」と連携しながら、イベント開催や生活支援の活動を行っています。また、府中高校の生徒による日本語教室も開設され、地域ぐるみで支援体制が整いつつあります。今後も地域の自主的な活動と連携を深めながら、外国人の方々が安心して暮らせる支援を考えていきたい。

質問：住みたいまちとして選ばれる、多文化共生のまちづくりについて市長に伺う

答弁（小野市長）

近年、備後圏域では外国人住民が増加し、多文化共生が重要になっています。府中市もすべての住民の人権が尊重され、お互いを理解しながら誰もが活躍できるまちを目指しています。これは外国人に限らず、すべての市民にとって大切なことです。「府中市に住んでよかった」と思えるよう、多様性を生かした地域づくりに取り組んでまいります。

質問：外国人住民の社会参画の現状を伺う
(地域活動・ボランティア・町内会など)

答弁

昨年12月の広報ふちゅうで紹介されたように、外国人従業員が町内会の川の清掃活動に参加しており、高齢化が進む町内にとつて貴重な戦力となっている。こうした取り組みが他にもあると考え、地域交流活動やマッチングを通じて地域貢献を促進したいと考えている。

一般質問「防災リーダー、防災士について」

【府中市の現状、支援と課題について伺う】

(令和7年度1月末時点)

- ・146名の防災士が登録
- ・平均年齢は61.7歳、60代が4割を占める
- ・市内70町内会のうち約90%に防災士が在籍

府中市では、福山防災大学を通じた資格取得に費用面の支援を行い、町内会からの推薦をもとに防災士を養成しています。

防災意識は地域や家庭によって差があるため、消防団など他団体と連携し、地域で助け合う意識と体制の構築を目指しています。

質問：本市の防災士の活動状況を伺う。

答弁

スキルアップ研修の参加率から約31%が活動していると推測されます。市では資格取得後の支援として、年1回の防災リーダースキルアップ研修を実施し、講師役も務められるようスキル向上を図っています。内容は、県の防災センター研修や災害図上訓練など多様です。リーダー登録の際に研修案内とネットワークの活用を進めています。他市の事例も参考にし、地域での活躍の場を広げています。

質問：学校教育において防災意識を育てるカリキュラムを導入しているか伺う

答弁

小中学校や義務教育学校で避難訓練やマイタイムラインを活用した学習を通じて実施されています。総合的な学習の時間に防災が探求課題の一つとして取り上げられ、防災士と危険箇所を学ぶ取組や、防災訓練・非常食作りを行う学校もあります。学んだことを地域や他学年に広める活動も進めています。今後もこうした学習を続け、児童生徒が地域の安全に貢献し、率先して行動できる力を育んでいきます。

継続可能な財政プラン 5年間で立て直す！

①府中市は大丈夫？

財政調整基金が減少し、2026年度には枯渇の可能性があるため、市は節約予算を発表し、厳しい財政状況に対応する財政運営プランをたてました。

※財政調整基金：自治体の「貯金」のようなもの。収入が減った時や大きな災害があったときに使うために貯めておくお金。

②どうしてこんなことに？

市を良くするために大きな公共事業にお金を使いました。また、子育てや高齢者、障害のある人を支援するための費用が増え、さらに公共施設を維持・管理するためのお金もかかるようになりました。加えて、市役所の職員の給料が増え、大きな事業の借金を返すための支出も増えました。さらに、他の事業や補助金に使うお金も増えたため、市の貯金が減ってしまいました。

③どうやって改善する？

(1)スクラップ・アンド・ビルド

約300の事業や補助金を見直す

(2)歳入の確保

市有財産の売却、ふるさと納税、ネーミングライツなどの自主財源確保

(3)将来負担マネジメント

投資的事業は必要性や効果、ランニングコストなどを十分に検証した上で実施する

④計画期間は5年間（令和7年度～令和11年度まで）

(1)収支の黒字化

基金を取り崩さずプラス収支

(2)令和11年度末

基金残高を24億円

(※現在残高は17億5500万円)

⑤令和7年度予算 歳出の削減：8.7億円

⑥令和7年度予算 歳入の確保：7.0億円

⑦令和7年度 効果15.7億円

令和8年度～11年度 31.5億円

期間合計：47.2億円

府中市緊急用の貯金（税制調整基金）が、2026年にはなくなってしまうので、府中市は「節約モード」に突入しました。

【なぜ？】未来のために道路や建物を整備したり、子育て・高齢者・障がい者支援をがんばったり、たくさんの「いいこと」にお金を使った結果なんです。3月議会では、300の事業を見直し、ムダを省いて、稼げる工夫もスタートしました。

ふるさと納税や市有財産の売却、ネーミングライツも検討中。目指すは、赤字ゼロ&貯金24億円。5年で立て直す計画が今まさに始まりました。府中の未来をみんなで創っていきましょう！